

●自然体験⑦

カモフラージュ

13 気候変動に
具体的な対策を15 陸の豊かさも
守ろう

概要

自然の中に置かれた人工物を探し、生きものたちが外敵から身を守るための知恵(擬態や保護色)を学びます

人数

・2~40名

対象

・5才以上

実施期間

・通年

所要時間

・10~60分



活動場所

・各ハイキングコース、風のはらっぱ、テントサイト など

指導のねらい

- ・注意深く見て気づく力を養う
- ・他の物の色や模様似せて、自らの命を守る生き物を学ぶ

活動のながれおよび留意点

【当日】

(進行者)

- ①事前に場所を決め、自然の中に人工物をセットする
※セットした場所から少し離れたところにロープを置く
- ②参加者をスタート位置に集め、ルールを説明する
- ③活動を開始する
- ④ゴールで参加者の回答を聞く(参加者の答えが違った場合は大体の目安を伝える)
- ⑤全員が終了したら、答え合わせをする

(参加者)

- ①ロープの後ろに並び自然の中から人工物をさがす
- ②ゴールで見つけた数を伝える
- ③正解するまでチャレンジする
- ④自然界のカモフラージュについて考えてみる

【ルール】

- ①ロープの向こう側には、自然の中にはないはずの人工物をいくつか置いてある
- ②隠してはいないので、姿勢をかえて探せば見つかる所にある
- ③範囲を示す(奥行きは1m、高さは参加者の背丈程)
- ④1人ずつゆっくりロープにそって静かに歩く
- ⑤前の人は追い越しても良いが、後戻りはできない
- ⑥ロープを超えてセットしているものに触れられない

【留意点】

- ・事前にコース周辺のゴミ拾いをする
- ・人工物の見つけやすさについて、難易度の幅をもたせる

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

・なし

【団体で準備するもの】

- ・人工物(1~20個程度)、ゴミ袋
- ・ロープ(5m×2~3本程度)

備考



(SNAJ 引用申請番号 294)

(公社)日本シェアリングネイチャー協会

TEL:03-5363-6010 FAX:03-5363-6013